

地域連携の形を薬局の窓口から考える

調剤薬局を起点とした 松原市における社会的処方評価事業の説明

© Osaka Metropolitan University All Rights Reserved.

—松原市における新しい地域連携システムの検証—

大阪公立大学大学院看護学部
地域包括ケア科学分野
特任講師 / 後期博士課程

佐藤由恵

2000年3月

大阪大学医学部保健学科看護学専攻 卒業

2000～2006年

大阪大学医学部附属病院消化器外科病棟 勤務

→ターミナル期の在宅移行に多くかかわり、「退院後の生活」を支えることに興味をもつ

2007～2023年

愛仁会高槻訪問看護ステーション(高槻市)、済生会兵庫県病院訪問看護ステーション(神戸市北区)

ハピネス訪問看護ステーション(大阪市平野区)で勤務

→病気だけでなく、生活する環境や人とのつながりが健康に大きく影響することを実感

地域で暮らし続けるための予防支援や地域づくりに興味をもつ

2023～2025年

大阪公立大学大学院看護学研究科博士前期課程 卒業

→松原市地域包括支援センターで不眠症状とフレイルに関する研究

2025年～

大阪公立大学大学院看護学研究科博士後期課程 在学中

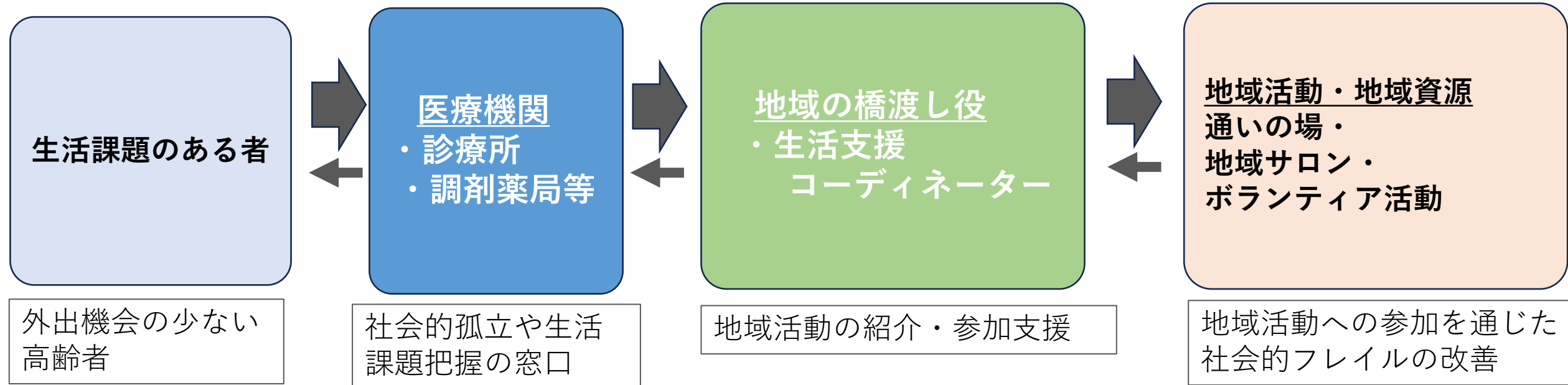
→フレイル予防、要介護化を予防する地域づくりをテーマに研究中

1. 松原市における社会的処方連携システムとは
2. 松原市の地域資源と活用に向けた課題
3. 社会的処方連携システムの評価方法
4. 期待される評価と今後の展望

1. 松原市における社会的処方連携システムとは
2. 松原市の地域資源と活用に向けた課題
3. 社会的処方連携システムの評価方法
4. 期待される評価と今後の展望

1. 松原市における社会的処方連携システムについて

社会的処方とは、
医療・保健専門職が社会的孤立や生活課題を抱える人を地域活動につなぎ、健康課題の改善を目指すアプローチである



1. 松原市における社会的処方連携システムについて

松原市における社会的処方連携システムは、
調剤薬局を起点として、地域在住高齢者が**生活支援コーディネーター**と連携することで
地域活動への参加を促進し、社会的フレイル予防を目指すアプローチ

対象者

- ・地域活動へ自立参加が可能な方
- ・主に65歳以上の高齢者

※リーフレットの配布は40歳以上にも行う
(友人や家族の参加も促進する)

地域活動に参加が期待できる方

調剤薬局

- ・社会的フレイルの調査
- ・地域参加リーフレットを配布
- ・地域活動参加の紹介

地域活動参加のきっかけの窓口

生活支援コーディネーター

- ・社会的フレイル該当者への電話連絡
- ・地域活動の提案・参加支援
- ・継続支援・参加状況の共有

地域活動の紹介・参加支援

地域活動・交流活動

- ・フレイル予防活動：
元希者カフェ(体操・脳トレ等)
健康まつばら(体操・水彩画・健康麻雀・認知症カフェ等)
- ・多世代交流活動：
おしゃべりカフェ・
みんなでごはん

地域活動への参加を通じた社会的フレイルの改善

1. 松原市における社会的処方連携システムについて

● リーフレットの役割

・ 共通の地域資源ツール

調剤薬局・生活支援コーディネーター・対象者が地域資源を共有
共通理解のもとで地域参加を支援

・ 地域活動のきっかけづくり

地域活動を知る
地域活動参加の「最初の一步」を後押し

・ 幅広い対象への活用

社会的フレイルの有無にかかわらず配布し、地域活動参加を促す

・ 社会的フレイル該当者への個別支援

生活支援コーディネーターが地域活動参加を支援



共通の地域資源ツールとしてリーフレットを活用し、
社会的フレイル該当者には個別支援を組み合わせる

松原市：調剤薬局からのお知らせ

いつまでも自分らしく暮らすために

まずは **元希者カフェ**（げんきもんカフェ） に来てみませんか？

対象となる方

- 松原市にお住まいの方
(主に65歳以上の方を対象にしています)
- ご自身で会場までお越しいただける方
「最近、外出が減った」「誰かと話す機会が少ない」
そんなときは、少しだけ外に出て、
人と関わることから始めてみませんか？



元希者カフェは、こんな場所です

人とのつながりや外出は、フレイル予防の大切な一歩です。

元希者カフェは、無理なく外に出て、人とつながるきっかけの場です。

体操、脳トレ、おしゃべり、スマホ相談などを通して、気軽に交流できます。

ご家族やご友人と一緒にの参加も歓迎しています。



無理なく活動



参加費：100円
(コーヒー・お茶付)



初めての方も
見学OK



事前
申込不要

薬局と専門家が、あなたの「つながり」を支えます

① 薬局でアンケート

窓口でお渡しする「生活の様子をうかがうアンケート」にご協力ください。
今の健康状態を薬剤師と一緒に確認します。

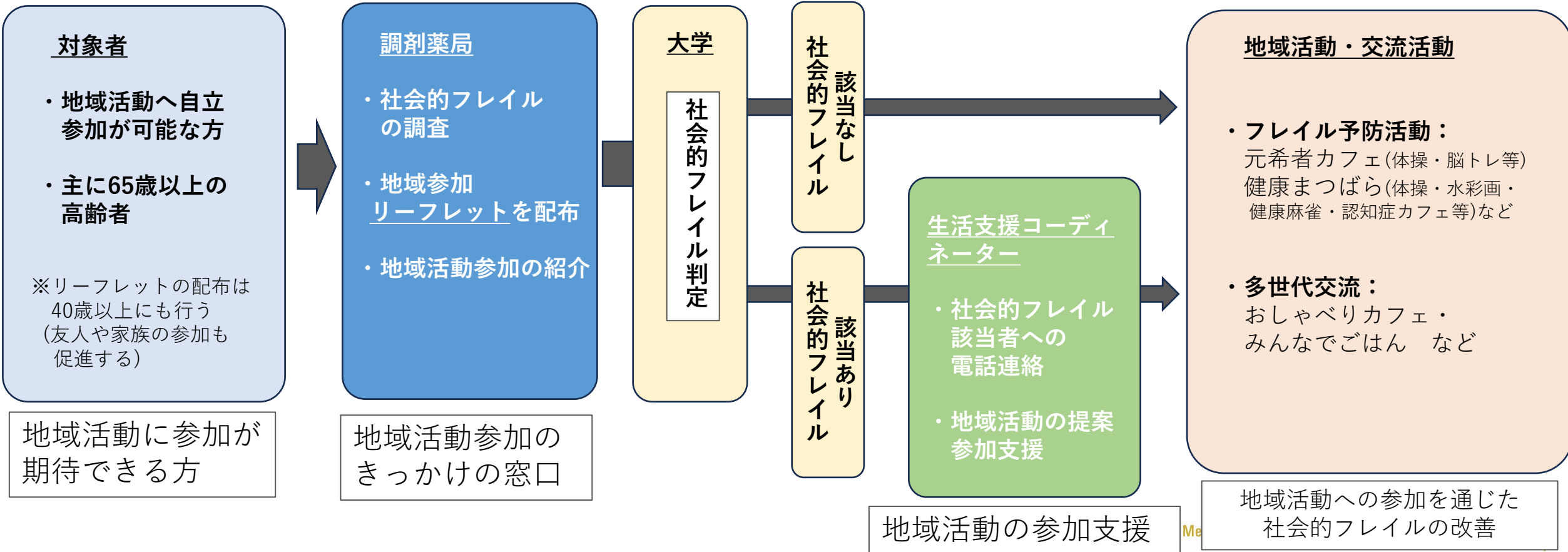
② 安心のサポート体制

アンケートの結果、お一人での外出や交流に不安を感じている方には、後日専門スタッフ(生活支援コーディネーター)からお電話等でご連絡することがあります。

ご本人の同意がある場合のみご連絡します

1. 松原市における社会的処方連携システムについて

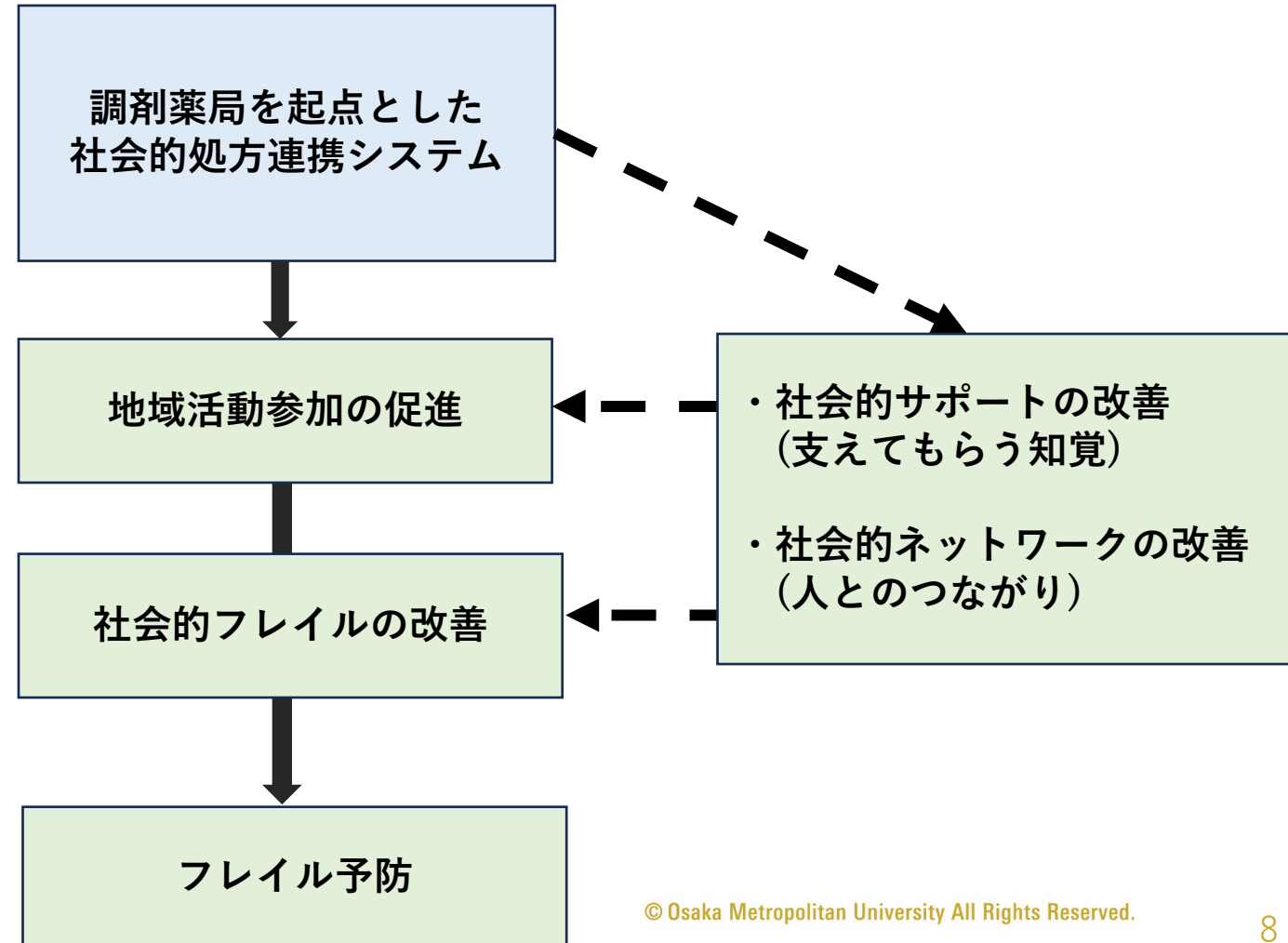
松原市における社会的処方連携システムでは、**地域活動への参加を促進**するとともに、**社会的フレイル**に該当する方には生活支援コーディネーターによる**個別支援**を行います



1. 松原市における社会的処方連携システムについて

● 社会的処方連携システムにより期待する効果

- 1) 地域活動への参加促進
- 2) 地域活動参加や社会的処方を通じた、社会的サポートや社会的ネットワークの向上 (支えてもらう知覚・人とのつながり)
- 3) 社会的フレイルの改善
- 4) フレイル予防

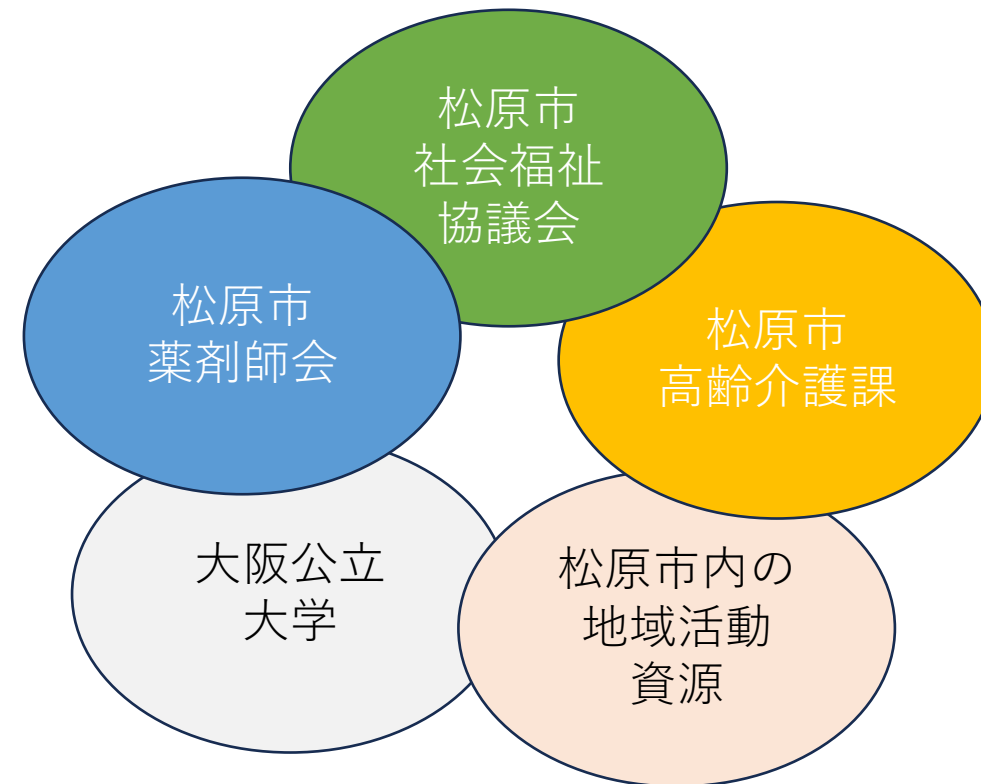


1. 松原市の社会的処方連携システムについて

本事業では、**調剤薬局**を窓口とし、地域資源リーフレットを共通ツールとして活用し、**薬剤師会・社会福祉協議会・松原市・大阪公立大学**が役割を分担しながら連携システムを構築します

● 連携システムにおける役割

- **調剤薬局**：
地域活動リーフレットの活用・配布、
社会的フレイルの調査
地域活動参加のきっかけづくり
- **松原市社会福祉協議会（生活支援コーディネーター）**：
地域活動の提案・リーフレットの作成協力、
地域活動の紹介・参加支援
社会的フレイル該当者への連絡・継続支援
- **松原市高齢介護課**：
連携事業の推進・体制整備
- **大阪公立大学看護学部**：
地域資源リーフレットの作成
社会的フレイル該当者の評価、連携システムの構築・効果検証



1. 松原市の社会的処方連携システムについて

● 松原市社会的処方連携システムのポイント

1) 地域活動につながる新たな入口

調剤薬局を起点として、地域活動につながりにくかった方への新たなアプローチ

2) 医療と福祉をつなぐ連携

地域資源リーフレットを共通ツールとして、薬局と生活支援コーディネーターが連携して支援

3) 地域とのつながりを育む

地域活動への参加を通して、人とのつながりや支え合いを育み、社会的フレイル予防につなげる

1. 松原市における社会的処方連携システムとは
2. 松原市の地域資源と活用に向けた課題
3. 社会的処方連携システムの評価方法
4. 期待される評価と今後の展望

2. 松原市の地域資源と活用に向けた課題

● 松原市の生活支援コーディネーター

第1層(1名):
松原市全域の基盤整備

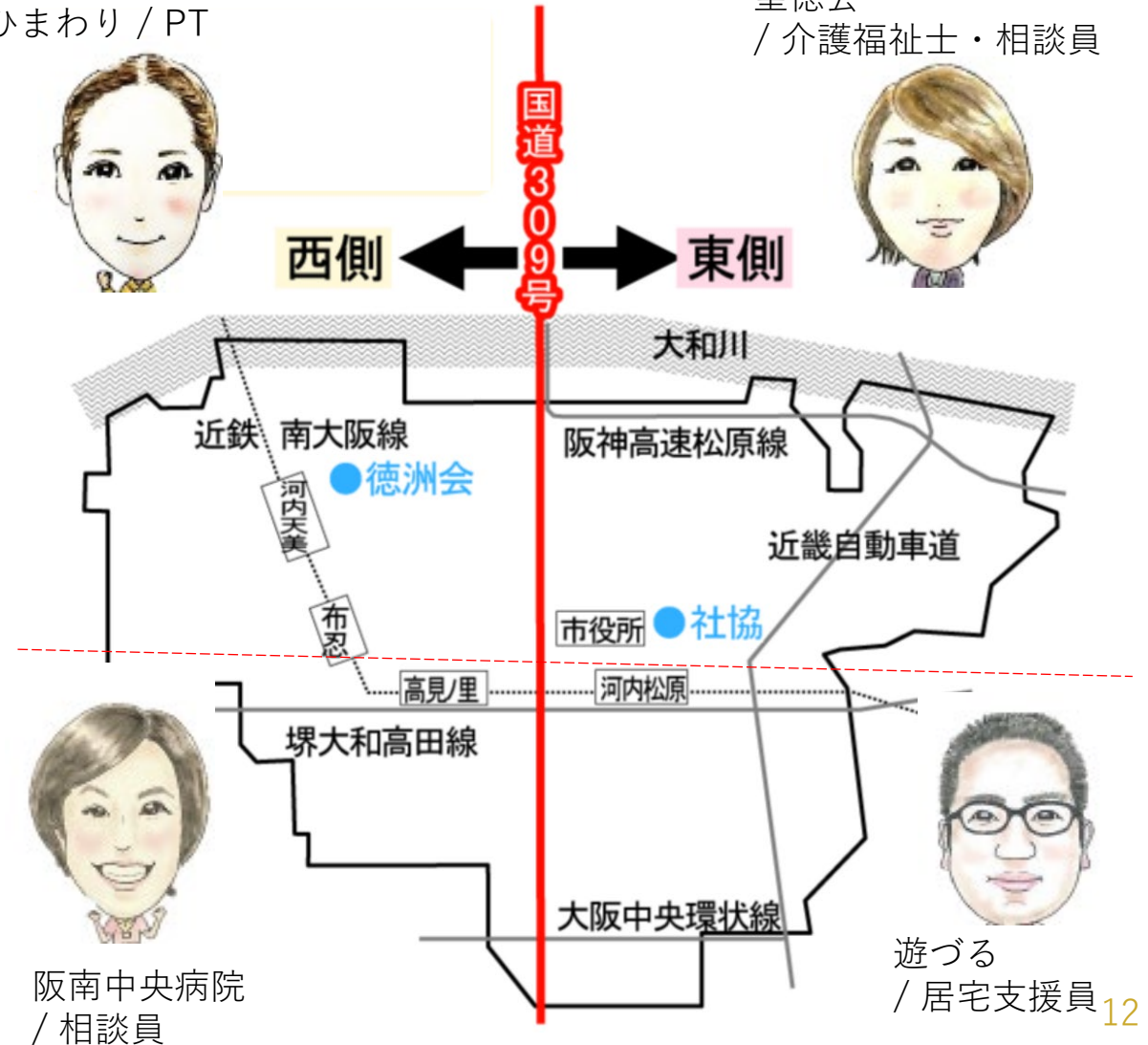
松原市社協
/ 社会福祉士



第2層(4圏域 各1名):
地域資源のネットワーク開発
地域資源の開発
住民活動支援

デイサービスセンター
ひまわり / PT

聖徳会
/ 介護福祉士・相談員



阪南中央病院
/ 相談員

2. 松原市の生活支援コーディネーターと地域資源

● リーフレットに掲載候補となる地域資源

1) 松原市が主体となる地域資源

- ・ 介護予防教室
- ・ スマホ教室
- ・ 介護予防アプリ
- ・ きらりボランティア活動
- ・ キッチンカー事業による多世代交流イベント
- ・ 元希者クラブ(松原市老人クラブ連合会)



2. 松原市の生活支援コーディネーターと地域資源

2) 社会福祉協議会中心の活動 (生活支援コーディネーター)

- ・元希者カフェ
- ・認知症カフェ
- ・おたがいさんカフェ
- ・まつばら脳トレプリント配布
- ・ボランティア活動

みんなが楽しく集えるカフェ

見学も可能です。
どなたでもご参加できます。

参加費 100円
(飲み物付き)

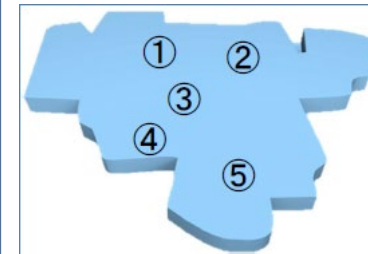
元希者カフェ

時間: 13時30分～

脳トレ・体操・スマホ相談など
実施しています

日程・場所は裏面参照

主催: 松原市・(福)松原市社会福祉協議会・(福)聖徳会・(福)堺暁福祉会
・(医)垣谷会・(医)阪南医療福祉センター
協力: 松寿苑・天美荘・松南苑・つるかめ苑・まつばらテラス(輝)



- ①天美荘
- ②松寿苑
- ③松原テラス(輝)
- ④つるかめ苑
- ⑤松南苑



まつばら脳トレ教室

外出の機会が減り家に閉じこもりがちになっていませんか。
 社協では、さまざまな団体と協力をして、脳トレのプリントを会場まで取りに行き、自宅で挑戦をして、運動不足と頭の体操を行う事業を始めます。同じ月はその会場でも同じプリントが配布されますので、自分のペースに合わせて、会場を選んで出かけてみてください。

参加資格：参加にあたり、「おたがいさんパスポート」が必要です。
 社会福祉協議会へ電話にてお申込みください。

内容：会場で、「おたがいさんパスポート」を提示。
 スタンプを押してもらい、プリントを受け取り、自宅で実施。
 ※開催日時以外は、プリントをお渡ししません。

日時・場所：一覧表をご参照ください。各会場への問い合わせはできません。

申込や開催状況などの問合せは

松原市社会福祉協議会072-333-0294までお問い合わせください

会場一覧は[こちらのQRコード](#)から確認することができます。

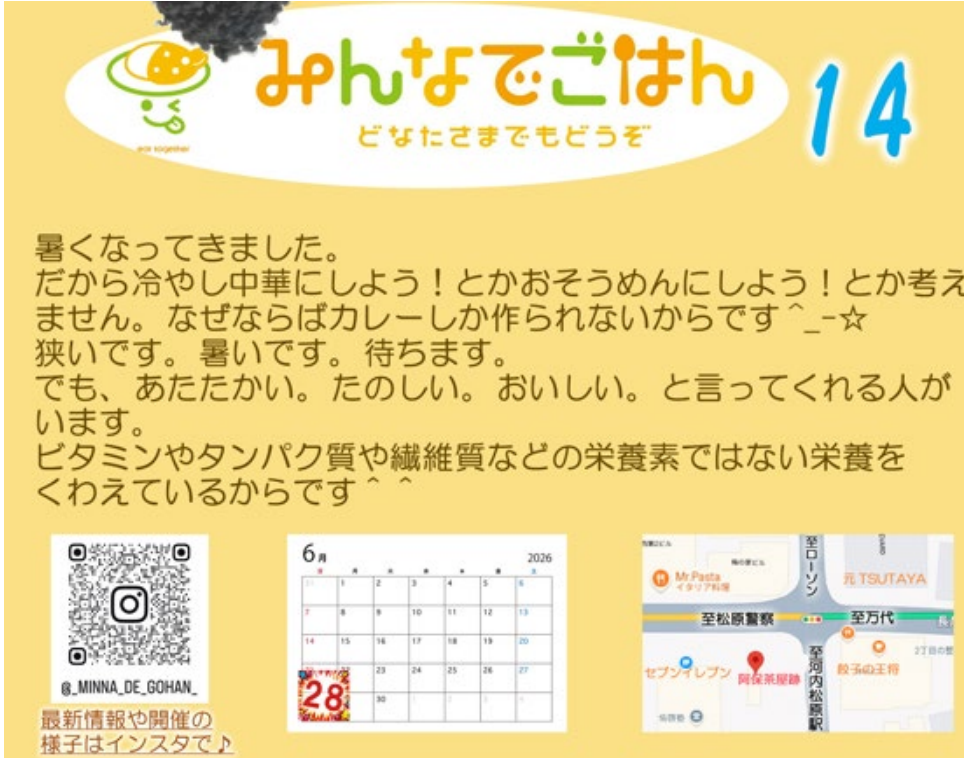


※会場の都合より、中止になる場合があります。

15	健康スタジオまつばら (阿保3-4-31)	第2水曜日 14:30~15:30	脳トレのプリント配布
16	高見ヶ丘公民館 (河合2-438-55)	第2木曜日 13:30~14:30	脳トレのプリント配布
17	アロマサロンKotoRi (一津屋2-5-25)	第3木曜日 10:00~11:00	脳トレのプリント配布
18	クロバーハウス (田井城2-2-2サンシティ松原122)	第2火曜日 13:30~14:30	脳トレのプリント配布
19	天美我堂公民館 (天美我堂3-124-1)	第2金曜日 13:30~14:30	脳トレのプリント配布
20	河合公民館 (河合3-8-3)	第2土曜日 13:00~14:00	脳トレのプリント配布
21	イソノ薬局 (上田1-10-9)	第2水曜日 14:00~15:00	脳トレのプリント配布
22	品川薬局 (松ヶ丘1-4-21)	第3木曜日 14:00~15:00	脳トレのプリント配布
23	うめ薬局 (南新町3-2-29)	第2木曜日 14:00~15:00	脳トレのプリント配布
24	別所うめ薬局 (別所3-17-19)	第2火曜日 14:00~15:00	脳トレのプリント配布
25	みやげ薬局 (三宅西1-360-1)	第4金曜日 15:30~16:30	脳トレのプリント配布
26	パートナーぬのせ薬局 (東新町4-11-22)	第2木曜日 14:00~15:00	脳トレのプリント配布
27	フロンティア薬局一津屋店 (一津屋1-19-14)	第3水曜日 13:00~14:00	脳トレのプリント配布
28	Sovell-matsubara- (松原市天美東8-1-17-101 EXハイツ天美東)	第3木曜日 13:30~14:30	脳トレのプリント配布
29	楓ジム (天美東7-6-12) 7丁目ビル1F	第4木曜日 13:30~14:30	脳トレのプリント配布
30	上田第一会館 (松原市柴垣1-138-1)	第2日曜日 13:30~14:30	脳トレのプリント配布
31	上田第四町会公民館 (松原市上田2-6-23)	第2木曜日 10:00~11:00	脳トレのプリント配布
32	M&Space (松原市高見の里4-5-34)	第4水曜日 10:00~11:00	脳トレ配布+喫茶 (喫茶は有料、希望者)
33	健康サークルまつばら (松原市阿保3-15-26)	第1金曜日 10:30~11:30	脳トレのプリント配布

3) NPO法人などの活動

- ・ 社会福祉法人聖徳会 健康サークルまつばら
- ・ NPO法人まつばらベース みんなでごはん



みんなでごはん 14
どなたさまでもどうぞ

暑くなってきました。
だから冷やし中華にしよう！とかおそうめんにしよう！とか考え
ません。なぜならばカレーしか作られないからです^-☆
狭いです。暑いです。待ちます。
でも、あたたかい。たのしい。おいしい。と言ってくれる人が
います。
ビタミンやタンパク質や繊維質などの栄養素ではない栄養を
くわえているからです^^

QRコード: @MINNA_DE_GOHAN_

最新情報や開催の
様子はインスタで♪

6月 2026
28

Map: 空松原警察, 至万代, 至河内松原駅, 元 TSUTAYA, セブンのレパン, 向保菜屋跡, 餃子の王将



聖徳会が独自で取り組んでいる
『大人の習いごと』の教室です。

健康
スタジオ
まつばら

すべてのプログラム
1回600円で暮らしを
もっと豊かに！

松原市には多様な地域活動や交流の場があります。
一方で、**孤立しがちな方や外出機会が減ってきた方**ほど、地域参加につながりにくい現状があります。



調剤薬局で紹介しやすく、生活支援コーディネーターによる**支援にもつながりやすい**地域資源を整理し、**参加を後押しする**リーフレットを作成します。

1. 松原市における社会的処方連携システムとは
2. 松原市の地域資源と活用に向けた課題
3. 社会的処方連携システムの評価方法
4. 期待される評価と今後の展望

3. 社会的処方連携システムの評価方法

研究目的

調剤薬局を起点とした社会的処方による地域活動参加を促す連携システムの効果を検証する

●研究デザイン

調剤薬局を介入単位とした非ランダム化比較研究

●対象地域

松原市北東地区の調剤薬局 介入群・対照群：各1施設
(研究ご協力 介入群：磯野薬局様 ， 対照群：ひの丸薬局様)

●対象者

選定基準：調剤薬局を利用する65歳以上の地域在住高齢者
(介入群 約150名、対照群 約150名)

除外基準：移動に同伴や介助を要する者(車椅子移動や歩行器移動も含む)
調査票(自己記入)が困難と判断される者

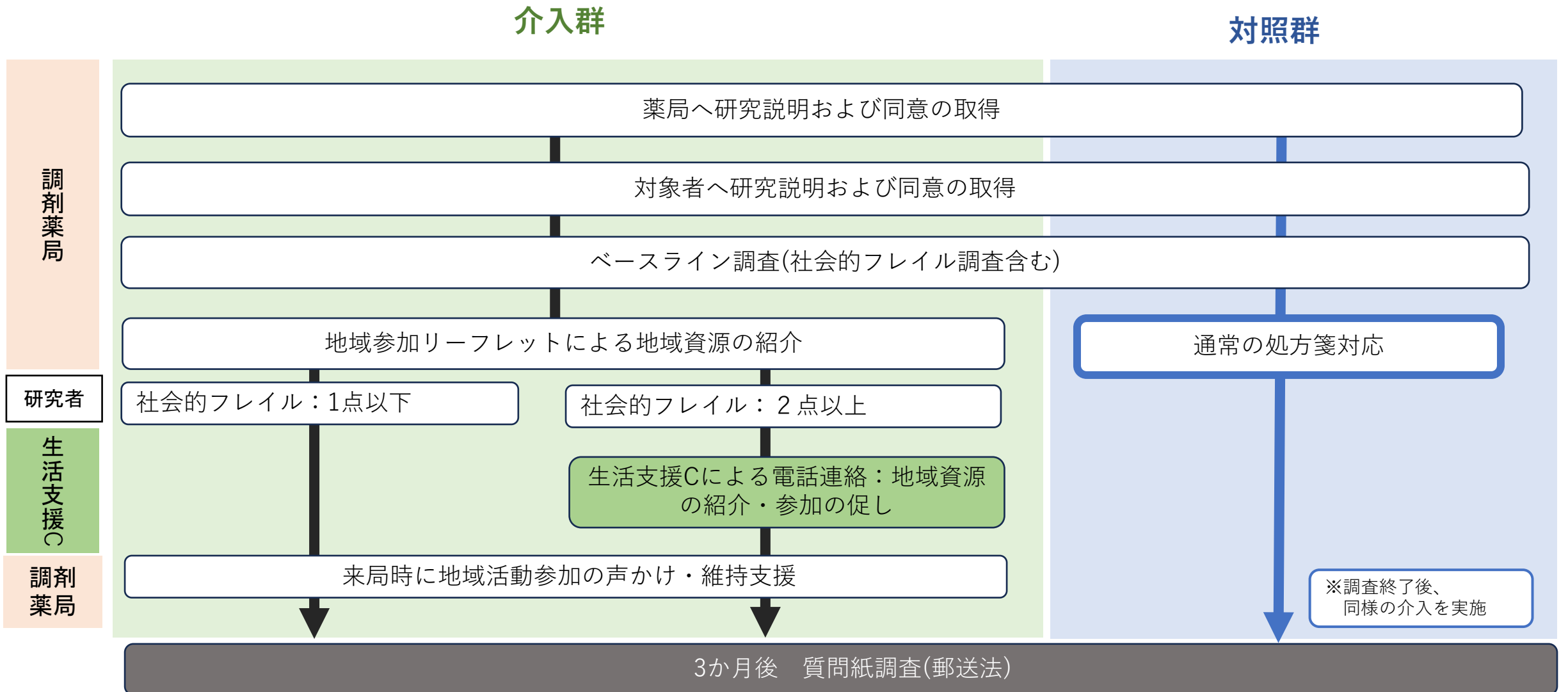
※本研究では、地域活動への自立参加の可能性を考慮し、移動の自立性を基準として対象者を設定した

●調査方法

・介入評価は、ベースライン・ベースラインから3カ月後の自記式質問紙調査で行う

3. 社会的処方連携システムの評価方法

● 介入研究のフロー



3. 社会的処方連携システムの評価方法

● 調査項目

1) 基本属性

項目	内容
年齢	() 歳
性別	男/女
婚姻状況	配偶者もしくはパートナーがいる(事実婚・内縁を含む)/死別/離別/未婚
最終学歴	中学卒(9年以下)/高校卒(9-12年)/専門学校・短大・大学卒(13年以上)
就労状況	就業あり/就業なし
経済状況 (内閣府 ：経済生活全般の状況)	家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている 家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている 家計にゆとりはなく、多少心配である 家計が苦しく、非常に心配である その他
主観的健康観	(あなたの現在の健康状態はいかがですか?) よい/まあよい/ふつう/あまりよくない/よくない

3. 社会的処方連携システムの評価方法

2) アウトカム

	項目	尺度
地域活動参加状況	地域活動参加状況	行動(実際の地域活動参加) ・過去1カ月の地域活動 ・交流活動への参加頻度・新規参加の有無
社会的サポート	MSPSS: 知覚社会的サポート尺度 短縮版	主観(感じている社会的支援) ・知覚された社会的サポートを評価する7項目の尺度・家族(2項目)・友人(2項目)・重要な他者(3項目)からの支援認知を各項目7件法で把握する
社会的ネットワーク	LSNS-6: Lubben社会的ネットワーク 尺度短縮版	客観(実際人とのつながり) ・家族(3項目)・友人(3項目)の社会的ネットワークを評価
社会的フレイル	社会的フレイル Makizatoらが開発した社会的フレイルの定義	・外出頻度・友人宅への訪問・役割知覚・独居・毎日の会話の有無について質問。 ・5項目の質問に2件法で回答。1項目1点。

3. 社会的処方連携システムの評価方法

●解析方法

- ・ ベースラインと3カ月後を比較し、介入効果を検証
- ・ 地域活動参加・社会的サポート・社会的ネットワーク・社会的フレイルを評価
- ・ ITT解析により評価

●倫理的配慮

大阪公立大学大学院看護学研究科の倫理審査の承認を得て実施する

1. 松原市における社会的処方連携システムとは
2. 松原市の地域資源と活用に向けた課題
3. 社会的処方連携システムの評価方法
4. 期待される評価と今後の展望

● 本事業評価で明らかにしたいこと

- ① 地域活動参加の効果を明らかにする
- ② 社会的サポート・社会的つながりの効果を明らかにする
- ③ 社会的フレイルへの効果を明らかにする
- ④ 今後の実装に向けた課題を明らかにする

● 本研究の意義

① 松原市への意義

- ・ 調剤薬局を新たに地域活動への窓口とした社会的処方連携システムを提案する
- ・ 地域活動につながりにくい高齢者への新たなアプローチ方法を示す

② 医療・福祉分野への連携

- ・ 調剤薬局・生活支援コーディネーター・行政・大学が連携する新たな連携システムを提案する
- ・ 医療と福祉をつなぐ新たな地域包括ケアシステムの発展に寄与する

③ 看護学的意義

- ・ 地域で暮らす高齢者を医療から福祉・地域活動へつなぐ地域看護の新たな連携システムを提示する

● 今後の展望

① 本事業による実装可能性の検証

- ・ 本事業を通じて、実装可能性や運用上の課題を明らかにする

② 地域ごとの課題の整理

- ・ 各圏域の地域資源や地域特性もふまえた連携方法を検討する

③ 松原市全体への段階的な展開

- ・ 各圏域で得られた知見をもとに、段階的な地域展開の可能性を検討する展開できる仕組みを目指す

● おわりに

調剤薬局という身近な場所から地域活動につながることで、

これまで地域活動につながりにくかった方への新たなきっかけとなり、

住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる地域づくりにつながればと考えています。

ぜひ、忌憚のないご意見をお願いいたします。

ご清聴ありがとうございました